

# あ



これは世につたえておきたい  
かたっておきたい  
わが胸の底から真実のおもい  
人生幾山河のめぐりあい  
あの日の風やひかり そして空のひとひら  
哀歎のかがり火に生きた幾年月の路  
「自分史図書館」は その証言館です。

## 私の稀観本ノート その4

椎窓 猛

自分史図書館へ足を運ぶよるこびは、思いがけない本の寄贈を受けているときである。

球磨川河口、八代に生きた詩人古川嘉一さんにこんな立派な詩集が石風社より刊行されていたのか。作家の前山光則氏が記しているように質の高い詩魂をもつ詩人を失っているのは昭和24年2月、享年37歳、うかうかと見過ごしていたことは事実。再読したい詩集である。

森禮子さんの小説『五島崩れ』を手にしたときも深い感慨を覚えた。昭和55年、主婦之友社発行。森さんは小島直記氏主宰『九州文学』に拠って作家活動を始め、「モッキングバードのいる町」で芥川賞受賞。

この物語は幕末、明治初年のクリスタン弾圧が五島列島に吹き荒れた“五島崩れ”の嵐に耐えた人びとを描いたもの。濃藍の島影、島娘の哀歎が汐風に光っている。今では手にしがたい一冊ではないか。懐旧の想いをこめて読んだ。

(自分史図書館長)



平成合併・記憶にとどめたい  
あの町この町、あの風物

浮羽の田主丸町も、三潁の城島も新久留米市へ。そこで惜別、語り伝えておきたい記念の冊誌がそれぞれ刊行されている。

### ●田主丸は『楽しく生まる田主丸ん本』

筑後川中流域、植木苗木で発展した町だが歴史の色どりも古く、また耳納連山陰影にとむ季節の風光。封建の世に愛と句に生涯をかけた俳人諸九尼の“春をまつ心に老はなかりけり”。それに面白い河童伝説の数々。

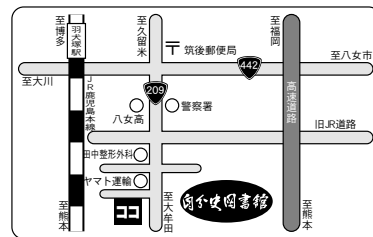
### ●城島は弘法さま、渡し舟、エツという珍しい魚。酒。瓦。浮島の渡し。

『古城』の作曲家細川潤一氏はこの町出身。詩人森崎和江さんのご尊父も浮島の出身と、つい先月、森崎さんから伺った。



東 古川嘉一詩集より  
私が生れた田舎の村では  
青い野の遠い東に  
静かな山脈があつた  
それゆゑ  
旅に暮すやうになつても  
知らない土地で  
山のある方を  
東だとはかり思ふ

開館 午前9時～午後5時 入館無料  
休館 土曜・日曜、祝祭日、年末・年始、その他  
休館することがあります。予めご確認下さい。



## 人生史サークル黄櫨の会

黄櫨の会は平成9年4月発会以来、「書くこと」「読むこと」「語り合うこと」を通して、これからの人生の歩き方を切り開いていくことを目的に、毎月一回の「人生学講座」、年三回の機関誌発行並びに親睦パーティ、年一回の文学研修旅行等を行っています。

話しをすることも楽しい、読むことも、書くことも楽しい。いま

## 参加へのお誘い

で知らなかったこと、気づかなかったことが見えてくる。生ある限り知識欲・挑戦欲をもち続ければ

代表世話人 末安良行

人生がどんなに充実したものになるでしょうか。

皆様の参加をお待ちしています。

- 受講会員—受講も投稿もできます。年会費12,000円。
  - 投稿会員—遠方か都合で受講できない人は、投稿のみすることができます。会誌代(3千円)を含めて年会費10,000円。
  - 購読会員—一年3回、会誌発行毎に1冊お送りします。年会費5,000円。
  - 賛助会員—本会の趣旨に賛同され、会誌を購読して頂く方です。会誌発行毎に2冊ずつお届けします。年会費10,000円。
- ★お尋ねは事務局 〒834-0025 八女市大字祈禱院563 ☎0943-24-2113 東迄どうぞ。



北九州市立中央図書館資料係山口さんのご高配で『シベリア強制抑留者が語り継ぐ労苦』という大冊が届けられた。戦後約57万5千余の兵士らが酷寒の地に伐採搬出の労役、食事は黒パン、水っぽいスープ、栄養失調で倒れる戦友。  
●岩手出身の及川新蔵さんの抑留の歌～吾が里のおいしきものを挙げぬればばた餅おはぎ夢の又夢。このスープ一杯で命つなげとは捕虜とは云えどもあまりのことと。ロシア語で最初に知ったダモイなるうその塊今も腹立つ。及川さんは「岩壁の母」のモデル端野イセさんのことや「異国の丘」の作曲



家吉田正上等兵のエピソードを記している。  
●岡山県の妹尾正一郎さんは、8月17日、遼陽で武装解除、奉天からハルピンへ、その後シベリヤ鉄道で、大興安嶺の山越え、澄んだ秋空の月光が顔を青白く照らした。収容所ゲネラルパーティ。その後は伐採疲労困憊の明け暮れ。ナホトカ港から帰国船信濃丸のタラップを登ったとき、帰国のよるこびに兵は抱きあって泣いたというむすび。  
●神奈川の境田伊俊さんの「苦節

4年間の思い出」アムール川に沿って東進、ハバロフスクからモムソモリスク、さらに舟に乗せられ、沿海州の野原の収容所へ。冬は零下40度。苦難の連続。よくぞ生き抜いて来たと思う反面、シベリアの凍土に眠る万余の亡き戦友の霊には冥福を――と書かずにはいられないと境田さん。  
戦いすんで60年、これらの苦勞を語る兵士も老いて、風化が進む現実。  
だが貴重な時代の備忘録もここに在ることを記録しておきたい。

## 受贈図書紹介④

訪韓記	武田 全	益城町	新・ありらの歌	福島久美子	三鷹市
白血病の息子が教えてくれた医者的心	丹羽 鞠負	土佐清水市	樺みず歌集	樺 みちず	東京都
ホップの花は恋の花	諸岡 和彦	福岡市	生のあかし	山内 白葉	柏市
あしあと	古賀 次夫	大川市	掌から生まれ出る生命たち	井上 葉智	東京都
ゆうな咲く島	鎌田 ヨシ	北九州市	大統領謝って下さい	野田 皓一	東京都
よみがえる生命	向坊 弘道	北九州市	おうちがだんだん遠くなる	横田 進	
いのちをつないで	賀久 はつ	宗像市	大東亜戦争の思い出	軍恩連 浮羽郡支部	
とどろき先生がやって来た	轟 寿男	北野町	ビルメンテナンス45年	今井 義和	
君への贈りもの	河端 洋安	山国町	空へーこの悲しみを繰り返さないために	名古屋空港中華航空機事故遺族会	
19才初年兵	佐藤 純夫	宮崎市	失われし魂を求めて	信原 義也	豊中市
湖の月	恒川和左子	名古屋市	夢追いかけて	河合 純一	浜名郡
創作文芸集 その時私は	原田 喜示	鹿児島市	私は情婦	塩田須美子	尼崎市
僕のスタンス	中田 幸作	熊本市	意識の流れ	田池 留吉	相模原市
創立八十周年写真集	(財)黒田奨学金	福岡市	私のヤケアトロロジー	内田 順子	名古屋市
瑞藤会報集	(財)黒田奨学金	福岡市	みじかい俳句	馬場 元志	広島市
生きて帰りたい	森田 尚	奈良市	ガンよおごるなかれ	田村 誠一	大阪市
農地法と闘って40年	梶井 恒義	大阪市	田七踊り全国採訪十七年	佐塔豊淑鳳	名古屋市
いのちの証し	菅原 茂	酒田市	わが青春に「食い」なし	高橋甲四郎	八女市